

「感じ」「動き」「かわる」…新たな未来にむかって！



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和7年5月19日 文責：校長 森川 稔

読み語り、はじまりの会

本校では登校後、8時の始業までは静かに読書、週に3日（月・水・金）は、朝の活動（8：00～8：10）も読書に取り組んでいます。また、毎年、読み語りボランティア「東風（ひがしかぜ）」のみなさんに読み語りをしていただいています。

今週からの読み語り開始を前に、先週は東風のみなさんに来ていただき、はじまりの会を行いました。代表の方からメンバーの方々を紹介していただき、最後は、軽快なリズムに乗せて「ダジャレンジャー♪」で楽しく身体を動かしました。

子どもたちが楽しみにしている読み語り、どんなお話を読んでいただくのか今から楽しみです。なお、東風には保護者の方だけでなく、地域の方、近隣のこども園の先生方もいらっしゃいます。もしご興味がある方は、子どもたちに楽しいお話を読んでいただけないでしょうか。ご協力よろしくお願ひします。



創立150周年記念事業の集大成です

昨年度、創立150周年ということで、記念式典をはじめ、さまざまな記念事業を行いました。その最後の取組として、地域や関係団体からいただいたご寄付を活用させていただき、図書室へ置く本の購入を進めていました。

選書は本校の図書支援の先生や図書担当の先生が行い、子どもたちが好きそうな本43冊が先日届き、図書室の一角に創立150周年記念コーナーを設け、自由に読めるようになっていきます。給食の放送で図書委員の子が本の紹介をしてくれ、みんなとても嬉しそうでした。

本は心の栄養です。今回購入した本も含め、たくさんの本に触れて心を豊かにしてほしいと思います。



自分の目で見る・実際に体験する

教科書やインターネットで写真や動画を簡単に見ることができる便利な世の中ですが、日々の学習の中では、実際に自分の目で見て確かめたり、体験したりすることで学びも深まります。

3年生は、社会科で「わたしたちのまちと市」について学習しています。教科書には横浜市の様子が紹介されています。まちの大きさの規模は違いますが、教科書の内容をもとに平戸市や田平町に置き換えて自分たちの住んでいるまちや市について理解を深めることが大切です。その第一歩として、学校周辺に実際に出向き、授業の中で学習した方位（八方位）や地図記号を確かめるための校外学習を行いました。

普段何気なく通っている道も、社会科の視点で見つめてみると、「あ、郵便局だ」「お寺もある」など、いろいろなことに気づき、担任の先生が準備していた大きな地図記号を手がかりにワークシートに書き込んでいました。単なる知識としてだけでなく、実際に自分の目で見て確かめることで理解を深めていました。

同時に交通ルールを守る、地域の方への気持ちのいいあいさつなど、社会的なルールやマナーの学習にもつながっています。



5年生は総合的な学習と社会科と関連させながら米作りを実際に体験する計画を立てています。これも教科書をもとに米作りの手順を学ぶことはできますが、今回は実際に農業を営まれている保護者の方をゲストティーチャーとしてお迎えし、粃まきのご指導をいただきました。育った苗を手作業で植える田植え体験ではなく、自分たちで苗を育て、それを植えて、お世話をして収穫するという一連の流れを体験することで、米作りの大変さや機械化の効率性などについて学びを深めることにつながります。今後は育った苗で6月初旬に田植えをする予定です。



今後も、各学年の体験的な学びを中心に紹介していきます。

田平東小HPはこちらから→

